

競技注意事項

1. 競技規則

本競技会は 2026 年度日本陸上競技連盟競技規則・競技会における広告及び展示物に関する規程ならびに本競技注意事項により実施する。なお、本競技会はWR k 指定競技会としない。

2. 練習会場等について

- (1) 前日の練習会場はメイン競技場 13:00～17:00、補助競技場 13:00～16:30 までとする。但し、投てき練習は不可とする。
- (2) 開門時刻は両日 7:30、閉門は 5 日（土）18:00、6 日（日）17:30 とする。
- (3) 本競技場の練習は、開門（7:30）から競技開始 30 分前までとするが、準備の都合上、制限する場合がある。
- (4) 荷物などの管理は、個人の責任によって行うこと。
- (5) 本競技場・補助競技場とも競技場備え付けの用具を使用すること。ラダー・ミニハードル・ゴムチューブ等を使用してのスピード練習は禁止する。
- (6) 投てき練習「メディスンボール等を含む」は、競技場の内外を問わず一切禁止とする。

3. 更衣室について

- (1) 更衣室は本競技場正面入って左側（男子更衣室）、右側（女子更衣室）に進んだ場所に設置する。
- (2) 更衣の際の荷物は、各自で管理し、盗難等に関して主催者は責任を負わない。
- (3) 更衣室内で場所取りすることは禁止する。

4. 招集について

- (1) 招集所は第4ゲート外側に設ける。
- (2) 種目別招集開始時刻・完了時刻は、以下の通りとし、競技日程にも記載している。

招集時間	トラック競技	跳躍競技	棒高跳	投擲競技
開始時間	30 分前	50 分前	100 分前	50 分前
完了時間	20 分前	40 分前	90 分前	40 分前

(3) 招集の方法

- ①競技者は、競技役員の点呼を受ける際、アスリートビブス・競技用靴・商標の点検を受けること。
なお、代理人による点呼は認めない。
- ②多種目を同時に出場する競技者は、第1種目の招集完了時刻の 30 分前までに所定の「多種目同時出場届」を提出すること。また第1種目招集開始までに多種目出場種目のアスリートビブスと競技用靴の点検を受けること。
- ③各種目を欠場する場合は、速やかに所定の「欠場届」を競技者係へ提出すること。招集完了時刻に遅れた競技者は、当該競技者を欠場したものとして処理する。
- ④混成競技について 招集は1日目及び2日目の最初の種目については、通常通り招集所にて行う。2種目目以降は、指示された時刻に現地に集合すること。混成競技控室は、本競技場第2ゲート付近用器具庫横にある雨天用室内走路内に設置する。競技の進行によって集合時刻が変更になる場合があるので、混成競技係の指示に従うこと。途中欠場する場合は直ちに混成競技係に申し出ること。
- ⑤TR6.3.2により競技区域内に持ち込みが禁止されている携帯電話・電子機器・通信機能のある腕時計等を招集所に持ち込まないこと。

5. アスリートビブスについて

- (1) アスリートビブスは主催者が用意する。
- (2) 選手受付は本競技場の正面玄関前に設置する。

6. 競技場の入退場について

競技場内への入退場は、競技役員の指示・誘導に従うこと。

7. レーン順・試技順の抽選並びに番組編成について

- (1) トラック競技のレーン順及びフィールド競技の試技順は、主催者が抽選で決定しプログラム記載の通りとする。
- (2) トラック競技の決勝の組み合わせ及びレーン順は、補助競技場入口掲示板およびWEB サイト(athleteranking.com)上で公開する。
- (3) トラック競技における次ラウンド進出者を決めるにあたり同成績の場合は 0.001 秒単位で着差判定してそれでも同じであれば、空レーンがある場合は次ラウンドへ進出できる。空きレーンがない場合は抽選により進出者を決める。
- (4) 抽選が必要な場合は、アナウンスにより当該競技者へ連絡し、大会本部で当該競技者あるいは代理人による抽選を行う。
なお、アナウンス後15分経過しても当該競技者あるいは代理人が大会本部へ来なかったときは、抽選の資格を失う。該当者が全員来なかった場合は主催者が代行して抽選を行う。

8. 競技及び競技方法について

- (1) トラック競技
 - ① 男女 1500m、男子 3000m S C は 2 組とし、資格記録上位者グループを 2 組とするが、欠場者が複数出た場合は、1 組で実施する場合がある。
 - ② 男女 5000m W のスタートは、グループスタートとするが、欠場者が複数出た場合は、取りやめることもある。
 - ③ 男女 5000m と男女 5000m W および混成競技最終種目は別アスリートビブスを使用する。
- (2) リレー競技
リレーに出場するチームは、競技者係に用意する「リレーオーダー用紙」に記入の上、第1組の招集完了時刻の1時間前までに競技者係へ提出すること。ただし、オーダー提出後の変更は、主催者の指定する医務員の許可がある場合のみ認める。
- (3) フィールド競技
 - ① 競技用具はポール以外、原則として競技場備え付けのものを使用する。但し、競技者は競技前に検査を受け承認され、かつ全競技者が使用できる場合、自分の用具の使用ができる。
 - ② フィールド競技の競技場内での練習は、競技役員の指示に従うこと。投てき競技の練習は原則2回とするが、進行状況等により回数の増減がある。
 - ③ 三段跳の踏切板は、砂場から男子 13m、女子 10m の位置に設置する。
 - ④ フィールド競技における手拍子は、TOP 8 以降（走高跳・棒高跳においては上位 8 位程度）に限ること。
- (4) 助力について
メインスタンド前ピットやバックスタンド前ピットで行われる跳躍競技では、スタンドの指定されたエリアから録画再生機器等を競技者に受け渡ししてよいが、機器の破損等には一切責任を負わない。（ただし、吊り下げケース等は各自で用意すること）
また、競技者は、競技中であるため録画再生機器等からの他者への通信等してはならない。
- (5) 記録については、場内大型スクリーンおよびWEB サイト(athleteranking.com)で確認すること。

9. 走高跳・棒高跳のバーの上げ方について

最後の一人になり優勝が決定するまでは次の通りとする。（ただし、天候等の状況により変更することもある。）

男子走高跳 練習 1m85、2m00 / 試技 1m90-1m95-2m00-2m05-2m08-2m11 以後 3cm

女子走高跳 練習 1m55、1m65 / 試技 1m60-1m65-1m70-1m73-1m76-1m79 以後 3cm

男子棒高跳 練習 4m30、4m70 / 試技 4m40-4m60-4m70-4m80-4m90-5m00 以後 10cm

女子棒高跳 練習 3m00、3m40、3m80 / 試技 3m20-3m40-3m50-3m60-3m70-3m80 以後 10cm

【混成競技のバー上げ方】

男子走高跳 練習 1m45、1m70 / 最初の高さ 1m50 / 上げ方 1m80 までは 5cm 刻み 以後 3cm

女子走高跳 練習 1m20、1m45 / 最初の高さ 1m25 / 上げ方 1m55 までは 5cm 刻み 以後 3cm

男子棒高跳 練習 2m30、3m30、4m00 / 最初の高さ 2m40 / 上げ方 3m80 までは 20cm 刻み 以後 10cm

10. 競技用具について/

競技会で使用する投てき用具は一覧にて示すが、投てき用具の持ち込みを希望する者は、競技開始時刻の2時間前から1時間前までに第2ゲート横用器具庫外側に提出すること。

11. 競技用靴について

競技場で使用できるスパイクピンの数は11本以内、長さは9mm以内とする。ただし、やり投・走高跳は12mm以内とする。また、スパイクピンは先端近くで、少なくとも長さの半分は4mm四方の定規に適合するようにつくられていなければならない。靴底の厚さは、20mm以内とし、競歩種目は40mm以内とする。競技中および競技終了後に競技役員や審判長が疑義を抱いた場合は検査を実施し、規程違反の場合は失格となる場合がある。

12. 結果発表と抗議について

- (1) 競技結果については、場内大型スクリーンに表示し、アナウンスで正式発表し、WEBサイト(athlete ranking.com)に掲出する。
- (2) 発表された結果に対する抗議は、競技規則に定められている時間内(同一日に次ラウンドが行われる場合にはアナウンス後15分以内、それ以外は30分以内)に競技者自身または代理人が、TICの担当総務員に口頭で申し出ること。審判長が再度検証し、担当総務員を通じて裁定を伝える。この裁定に不服がある場合は「上訴申立書」(TICに用意)に記入のうえ預託金2万円を添え、審判長裁定から定められた時間内にTICに申し出ること。「上訴申立書」による抗議裁定の結果は、担当総務員を通じて伝える。抗議が却下された場合、預託金は返金しない。

13. 種目別表彰について

- (1) 各種目3位までの入賞者には、表彰を行う。
- (2) 入賞者は、成績発表後、すぐに入賞者待機所(正面玄関中央エントランス内)に集合すること。

14. 一般的注意事項

- (1) 応援は競技運営に支障のないように行うこと。特にメインスタンドやフィールド種目の実施場所付近での集団応援は控えること。
- (2) スタンド通路に立っての応援や観戦は行わないこと。
- (3) スタンド座席に物やテーブル等を置いての場所取りは禁止する。
- (4) 競技場内での怪我等の応急処置は、主催者で行うが以後の責任は負わない。
- (5) 競技者等の遺失物は、本競技場前に設置したTICにおいて、大会終了時まで管理する。
- (6) 記録証明書は本人確認の上、手数料500円と引き換えにTICで申請できる。
- (7) 観客席からの撮影については、スマートフォン・タブレット端末のみとし、それ以外の望遠レンズを装着したカメラ等(ビデオカメラを含む)での撮影は厳禁する。
- (8) 競技者が出したゴミは、すべて自分で持ち帰り処理すること。
- (9) 横断幕等の設置は、サイド芝生席およびバックスタンドの中央通路より上のみとし、正面スタンド・サイドスタンドでの設置は禁止する。また、毎日撤去すること。
- (10) ポールの輸送については、業者の斡旋を行わないので各自の責任で輸送すること。

送付する場合は、和歌山陸協宛て前日(9/3(木) 13:00~16:00)に到着するよう手配すること。

《送付先》 〒641-0014 和歌山市毛見200 紀三井寺公園陸上競技場内

一般財団法人和歌山陸上競技協会・近畿陸上競技選手権大会本部 宛

TEL 073-444-3662